

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成30年4月19日(2018.4.19)

【公表番号】特表2017-517168(P2017-517168A)

【公表日】平成29年6月22日(2017.6.22)

【年通号数】公開・登録公報2017-023

【出願番号】特願2016-558194(P2016-558194)

【国際特許分類】

H 04 M 1/675 (2006.01)

H 04 W 88/06 (2009.01)

H 04 M 3/42 (2006.01)

H 04 W 48/18 (2009.01)

【F I】

H 04 M 1/675

H 04 W 88/06

H 04 M 3/42 E

H 04 W 48/18

【手続補正書】

【提出日】平成30年3月7日(2018.3.7)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

複数の無線周波数(RF)チェーンを使用する、複数のサブスクリプションのうちの少なくとも1つのサブスクリプションのサービスを管理するための、マルチ加入者識別モジュール(SIM)、マルチアクティブ通信デバイス上で実装される方法であって、

第1のRFチェーンに関連付けられた第2のサブスクリプションのサービスが、前記第1のRFチェーン上で第1のサブスクリプションのサービスをプリエンプトしているか、またはプリエンプトする予定であるかどうかを判断するステップと、

前記第1のRFチェーンに関連付けられた前記第2のサブスクリプションのサービスが前記第1のRFチェーン上で前記第1のサブスクリプションのサービスをプリエンプトしているか、またはプリエンプトする予定であると判断したことに応答して、前記第1のサブスクリプションの前記プリエンプトされたサービスの代替として利用可能である別のサービスが第2のRFチェーン上にあるかどうかを判断するステップと、

前記第1のサブスクリプションの前記プリエンプトされたサービスの代替として利用可能である別のサービスが前記第2のRFチェーン上にあると判断したことに応答して、前記第2のRFチェーン上で前記代替サービスを獲得するように前記第1のサブスクリプションを構成するステップとを含む方法。

【請求項2】

前記第1のサブスクリプションは、前記第1のRFチェーンおよび前記第2のRFチェーンの各々から異なるデータサービスを受信し、

前記第1のサブスクリプションは、前記第2のRFチェーンから音声サービスを受信する、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

前記第1のサブスクリプションの前記プリエンプトされたサービスが前記第1のRFチェー

ン上で再開し得るかどうかを判断するステップと、

前記第1のサブスクリプションの前記プリエンプトされたサービスが前記第1のRFチェーン上で再開し得ると判断したことに応答して、前記第1のRFチェーン上で、前記プリエンプトされたサービスを獲得し直すように前記第1のサブスクリプションを構成するステップとをさらに含む、請求項1に記載の方法。

#### 【請求項4】

前記第1のRFチェーン上で、前記プリエンプトされたサービスを獲得し直すように前記第1のサブスクリプションを構成するステップは、

前記第1のサブスクリプションの前記プリエンプトされたサービスが前記第1のRFチェーン上で再開し得ると判断したことに応答して、所定の期間だけ待つステップと、

前記所定の期間だけ待った後で、前記プリエンプトされたサービスが、再度、プリエンプトされたか、またはプリエンプトされる予定であるかどうかを判断するステップと、

前記所定の期間だけ待った後で、前記プリエンプトされたサービスが、再度、プリエンプトされておらず、プリエンプトされる予定もないと判断したことに応答して、前記第1のRFチェーン上で、前記プリエンプトされたサービスを獲得し直すように前記第1のサブスクリプションを構成するステップとを含む、請求項3に記載の方法。

#### 【請求項5】

前記第1のサブスクリプションの前記プリエンプトされたサービスの代替として利用可能である別のサービスが第2のRFチェーン上にあるかどうかを判断するステップは、

前記第1のRFチェーンおよび前記第2のRFチェーンの各々についての動作状態を判断するステップと、

前記第1のRFチェーンおよび前記第2のRFチェーンの前記動作状態、ならびに前記第2のRFチェーンに関連付けられた前記サービスに基づいて、前記第2のRFチェーン上で利用可能なサービスのテーブル中でルックアップを実施するステップとを含む、請求項1に記載の方法。

#### 【請求項6】

前記テーブルルックアップに基づいて、前記第1のサブスクリプションの前記プリエンプトされたサービスの代替として利用可能である、前記第2のRFチェーンに関連付けられた別のサービスがあるかどうかを判断するステップと、

前記テーブルルックアップに基づいて、前記第1のサブスクリプションの前記プリエンプトされたサービスの代替として利用可能である、前記第2のRFチェーンに関連付けられた別のサービスがあると判断したことに応答して、前記第2のRFチェーン上で前記代替サービスを獲得するように前記第1のサブスクリプションを構成するステップとをさらに含む、請求項5に記載の方法。

#### 【請求項7】

前記テーブルルックアップに基づいて、前記第1のサブスクリプションの前記プリエンプトされたサービスの代替として利用可能である、前記第2のRFチェーンに関連付けられた別のサービスがあるかどうかを判断するステップと、

前記第2のRFチェーンが、前記代替サービスを提供するようにすでに構成されているかどうかを判断するステップと、

前記テーブルルックアップに基づいて、前記第1のサブスクリプションの前記プリエンプトされたサービスの代替として利用可能である、前記第2のRFチェーンに関連付けられた別のサービスがあり、前記第2のRFチェーンが、前記代替サービスを提供するようにすでに構成されていると判断したことに応答して、前記第2のRFチェーン上で前記代替サービスを獲得するように前記第1のサブスクリプションを構成するステップとをさらに含む、請求項5に記載の方法。

#### 【請求項8】

前記第2のRFチェーンが、前記代替サービスを提供するようにはまだ構成されていないと判断したことに応答して、第1のRFチェーンに関連付けられた前記第2のサブスクリプションの前記サービスが、持続時間闘よりも長く、前記第1のRFチェーン上で前記第1のサブ

スクリプションの前記サービスをプリエンプトすると推定されるかどうかを判断するステップと、

第1のRFチェーンに関連付けられた前記第2のサブスクリプションの前記サービスが、前記持続時間閾よりも長く、前記第1のRFチェーン上で前記第1のサブスクリプションの前記サービスをプリエンプトすると推定されると判断したことに応答して、前記第2のRFチェーン上で前記代替サービスを獲得するように前記第1のサブスクリプションを構成するステップとをさらに含む、請求項7に記載の方法。

【請求項9】

マルチ加入者識別モジュール(SIM)、マルチアクティブモバイル通信デバイスであって、請求項1から8のいずれか一項に記載の方法を実施するように構成される、マルチアクティブモバイル通信デバイス。

【請求項10】

請求項1から8のいずれか一項に記載の方法を実施するように構成されたプロセッサ実行可能命令を記憶する、非一時的プロセッサ可読記憶媒体。